学校番号	１２０１

令和 ５年度　情報科

教科	情報	科目	プログラミング入門	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	日本でいちばんわかりやすいプログラミングのドリル（日本能率協会マネジメントセンター） コードモンキー						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

コードモンキーというオンライン教材を用いて、プログラミングの基本的な学習から発展的な内容を学ぶ。

2　学習の到達目標

・コードモンキーで用いられている Coffee Script というプログラミング言語の知識や技術を習得する。 ・課題において順序立てて論理的に思考し、判断し、表現することができる。 ・習得したプログラミング言語を用いて主体的に問題解決に向けて取り組むことができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・・問題解決するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法について理解している ・課題を解決する為の適切で正確な技能を身につけている。	・問題解決に向けて適切かつ効果的な判断を行っている ・順序立てて論理的に思考している	・主体的にプログラミング学習に取り組み、知識・技術を身につけようとしている ・授業で学んだ知識・技術を積極的に活用し更に改善しようとしている
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。			

4　学習の活動

				評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	アルゴリズム	アルゴリズムとは 良いアルゴリズム 良くないアルゴリズム	a:アルゴリズムについて理解している b:アルゴリズムの評価について適切に判断できる c:アルゴリズムに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている c:アルゴリズムの評価・改善が行える			
1学期	プログラミング	順次処理 変数 配列 繰り返し処理	a:プログラミングの３要素について理解している b:順序だてた論理的な思考を行うことができる b:課題を解決する為の正確なアルゴリズムの組み立てができる c:　プログラミングの基礎に興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技能判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察 授業態度 質疑応答
2学期	プログラミング	関数 真偽値 分岐処理	a:プログラミングに必要な知識が身についている b:課題に応じて解決する為の適切な思考を行うことができる b:与えられた課題を適切に達成することができる c:　プログラミングに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技能判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察(個別指導含む) 授業態度 質疑応答
3学期	プログラミング	否定 比較 返り値 イベント	a:プログラミングに必要な知識が身についている b:課題に応じて解決する為の適切な思考を行うことができる b:与えられた課題を適切に達成することができる c:　プログラミングに興味をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。	授業ﾌﾟﾘﾝﾄ基本課題 提出データ (技能判断)	応用課題 提出データ (応用性判断)	実習観察(個別指導含む) 授業態度 質疑応答

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度